

平成22年度補助金等概要報告書

公益法人名	(社)国際農林業協働協会
-------	--------------

(1) 年間収入（総収入－前期繰越金）	67,439,143 千円(A)		
(2) 補助金等の交付実績額			
名称	補助金・委託費の別	交付官庁	金額
緊急食糧支援事業費補助金	補助金	農林水産省	3,370,103 千円
途上国支援のための基礎的情報整備事業	補助金	農林水産省	8,628 千円
アフリカ等農業・農民組織化活性化支援事業のうち農業生産性・農業所得の向上(専門家派遣型)(アジア)	補助金	農林水産省	9,605 千円
アフリカ等農業・農民組織化活性化支援事業のうち農業生産性・農業所得の向上(専門家派遣型)(アフリカ)	補助金	農林水産省	7,651 千円
			千円
			千円
			千円
合 計			3,395,987 千円(B)
(3) 補助金等の年収比率	5.0 %(B/A)		

平成22年度補助金支出明細書

1. 補助金等の名称	緊急食糧支援事業費補助金		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	大規模かつ国際的な緊急食糧支援ニーズの高まりに対し円滑に対処するため、財政負担の平準化等を行うことにより、緊急食糧支援の着実な実施を図り、もって我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的とする。		
(2) 具体的な内容	緊急食糧支援として被援助国等に貸し付けた政府保有米が償還される際に、食料安定供給特別会計に発生する損失を補填する。		
3. 交付先の公益法人の名称	(社)国際農林業協働協会		
4. 交付実績額			3,370,103 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			6,815 千円
(2) 一般管理費			5,310 千円
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
		千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
	合 計	12,125 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
			千円
			千円
			千円
			千円
	合 計		0 千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	差額補填資金返還金	農林水産省	3,357,978 千円
		(食料安定供給特別会計)	千円
			千円
	合 計		3,357,978 千円
7. その他			
	内 容	金 額	
		千円	
		千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
8. 再補助等の割合			0.0 %(B/A)

補助金等の執行に当たっての交付先選定理由等(平成22年度)

1. 補助金等の名称	緊急食糧支援事業費補助金	
2. 対象特例民法法人名	(社) 国際農林業協働協会	
3. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の適用	○	有
		無
当該法人を選定した具体的理由	本事業の実施に当たっては①国内外の農業情勢に通じていること、②国際的な業務に対応できること、③複雑な経理処理に対応できること、が必要であるところ、これらの条件を十分に満たし効率的な事業実施が可能な当該法人を選定した。	
4. 会計法に基づく契約		一般競争契約
		指名競争契約
		随意契約
【指名競争契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
指名基準及び競争参加者選定の具体的理由		
【随意契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
当該法人を選定した具体的理由		

平成22年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	途上国支援のための基礎的情報整備事業(情報提供事業)	
2. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	農林業協力を効果的・効率的に行うため、基礎的な情報を収集・把握し、関係者に提供するとともにその共有化を図る。	
(2) 具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報の発信 ・情報誌「国際農林業協力」の発行 ・国際シンポジウム「私たちとアフリカ—アフリカの貧困と飢餓の撲滅を目指した農業・農村開発—」の開催 	
3. 交付先の公益法人の名称	(社)国際農林業協働協会	
4. 交付実績額	8,628 千円(A)	
5. 補助金等における管理費		
(1) 人件費	3,979 千円	
(2) 一般管理費	0 千円	
(3) その他の管理費		
内 容	金 額	
	千円	
	千円	
合 計	0 千円	
合 計	3,979 千円	
6. 外部への支出		
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
支出内容	支出先	金 額
		千円
		千円
合 計		0 千円(B)
(2) (1)以外の支出		
支出内容	支出先	金 額
委員・講師等謝金	委員、講師等	513 千円
委員・講師等旅費	委員、講師、鉄道会社等	748 千円
資料作成費	コピー機レンタル会社等	245 千円
通信運搬費	配送会社等	774 千円
会場借料	施設管理会社等	126 千円
会議費	施設管理会社等	16 千円
情報システム管理費	システム管理会社等	44 千円
通訳・翻訳料	通訳・翻訳業者	578 千円
原稿料	学識経験者・専門家等	795 千円
印刷費	印刷会社	810 千円
合 計		4,649 千円
7. その他		
内 容	金 額	
	千円	
	千円	
合 計	0 千円	
8. 再補助等の割合	0.0 %(B/A)	

補助金等の執行に当たっての交付先選定理由等(平成22年度)

1. 補助金等の名称	途上国支援のための基礎的情報整備事業(情報提供業務)	
2. 対象特例民法法人名	(社) 国際農林業協働協会	
3. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の適用	○	有
		無
当該法人を選定した具体的理由	<p>透明性・公平性を図る観点から、公募方式により事業実施者を募ることとし、農林水産省ホームページ及び農林水産省内掲示板に公示した結果、(社)国際農林業協働協会を含む2者から応募があった。補助金交付候補者については、「事業の内容及び実施方法」、「事業の効果」、「事業実施主体の適格性」の観点から、農林水産省が設置した補助金交付候補者選定審査委員会において検討した。検討の結果、選定委員会は、(社)国際農林業協働協会を補助金交付候補者として農林水産省に推薦し、農林水産省は、委員会の意見を踏まえ、同協会を補助金の交付先に決定した。</p>	
4. 会計法に基づく契約		一般競争契約
		指名競争契約
		随意契約
【指名競争契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
指名基準及び競争参加者選定の具体的理由		
【随意契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
当該法人を選定した具体的理由		

平成22年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	アフリカ等農業・農民組織活性化支援事業費のうち農業生産性・農家所得の向上(専門家派遣型)(アジア)		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	アフリカ等LDC諸国において、小規模農民の所得向上のための農民の組織化、生産・販売、加工等の活動の取組みを支援し、対象国の農業発展やわが国の国際貢献に資する。		
(2) 具体的な内容	カンボジアを対象にわが国より専門家を派遣し、農業生産性等実態調査によって抽出された課題を基に農業生産性・所得向上に関する指導・助言を行うとともに、評価検討委員会での検討と併せて専門家活動後の評価・モニタリングを実施した。		
3. 交付先の公益法人の名称	(社)国際農林業協働協会		
4. 交付実績額			9,605 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			3,415 千円
(2) 一般管理費			0 千円
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
		千円	
	合 計	千円	
	合 計	3,415 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
			千円
	合 計		千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	旅 費	委員、専門家等	3,040 千円
	謝 金	委員等	264 千円
	印刷製本費	事業報告書	143 千円
	通信運搬費	ソフトバンクテレコム他	54 千円
	使用料および賃借料	レンタカー会社等	674 千円
	会議費	コンビニエンスストア等	3 千円
	翻訳料	翻訳会社等	939 千円
	通訳料	現地協力者等	715 千円
	原稿料	専門家等	162 千円
	資機材費	現地資材店等	196 千円
	合 計		6,190 千円
7. その他			
	内 容	金 額	
	法人自己負担額	千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
8. 再補助等の割合			0.0 %(B/A)

補助金等の執行に当たっての交付先選定理由等(平成22年度)

1. 補助金等の名称	アフリカ等農業・農民組織活性化支援事業のうち農業生産性・農家所得の向上(専門家派遣型)(アジア)	
2. 対象特例民法法人名	(社) 国際農林業協働協会	
3. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の適用	○	有
		無
当該法人を選定した具体的理由	<p>透明性・公平性を図る観点から、公募方式により事業実施者を募ることとし、農林水産省ホームページ及び農林水産省内掲示板に公示した結果、(社)国際農林業協働協会ほか4者から応募があった。補助金交付候補者については、「事業の内容及び実施方法」、「事業の効果」、「事業実施主体の適格性」の観点から、農林水産省が設置した補助金交付候補者選定審査委員会において検討した。検討の結果、選定委員会は、(社)国際農林業協働協会を補助金交付候補者として農林水産省に推薦し、農林水産省は、委員会の意見を踏まえ、同協会を補助金の交付先に決定した。</p>	
4. 会計法に基づく契約		一般競争契約
		指名競争契約
		随意契約
【指名競争契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
指名基準及び競争参加者選定の具体的理由		
【随意契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
当該法人を選定した具体的理由		

平成22年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	アフリカ等農業・農民組織活性化支援事業費のうち農業生産性・農家所得の向上(専門家派遣型)(アフリカ)		
2. 事業の目的及び内容	(1) 目的 アフリカ等LDC諸国において、小規模農民の所得向上のための農民の組織化、生産・販売、加工等の活動の取り組みを支援し、対象国の農業発展やわが国の国際貢献に資する。		
	(2) 具体的な内容 ブルキナファソを対象にわが国より専門家を派遣し、農業生産性等実態調査によって抽出された課題を基に農業生産性・所得向上に関する指導・助言を行った。		
3. 交付先の公益法人の名称	(社)国際農林業協働協会		
4. 交付実績額			7,651 千円(A)
5. 補助金等における管理費	(1) 人件費		
			2,832 千円
	(2) 一般管理費		0 千円
	(3) その他の管理費		
	内 容	金 額	
		千円	
		千円	
	合 計	千円	
	合 計	2,832 千円	
6. 外部への支出	(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
	支出内容	支出先	金 額
			千円
			千円
	合 計		千円(B)
	(2) (1)以外の支出		
	支出内容	支出先	金 額
	謝 金	現地協力者	18 千円
	消耗品費	書店、市場等	50 千円
	旅 費	委員、専門家等	3,551 千円
	印刷製本費	事業報告書	145 千円
	通信運搬費	ソフトバンクテレコム他	20 千円
	使用料および賃借料	レンタカー会社等	478 千円
	会議費	ワークショップ	0 千円
	翻訳料	個人翻訳者	51 千円
	通訳料	現地協力者等	406 千円
	原稿料	専門家等	100 千円
	合 計		4,819 千円
7. その他	内 容	金 額	
	法人自己負担額	千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
8. 再補助等の割合			0.0 %(B/A)

補助金等の執行に当たっての交付先選定理由等(平成22年度)

1. 補助金等の名称	アフリカ等農業・農民組織活性化支援事業のうち農業生産性・農家所得の向上(専門家派遣型)(アフリカ)	
2. 対象特例民法法人名	(社) 国際農林業協働協会	
3. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の適用	○	有
		無
当該法人を選定した具体的理由	<p>透明性・公平性を図る観点から、公募方式により事業実施者を募ることとし、農林水産省ホームページ及び農林水産省内掲示板に公示した結果、(社)国際農林業協働協会ほか2者から応募があった。補助金交付候補者については、「事業の内容及び実施方法」、「事業の効果」、「事業実施主体の適格性」の観点から、農林水産省が設置した補助金交付候補者選定審査委員会において検討した。検討の結果、選定委員会は、(社)国際農林業協働協会を補助金交付候補者として農林水産省に推薦し、農林水産省は、委員会の意見を踏まえ、同協会を補助金の交付先に決定した。</p>	
4. 会計法に基づく契約		一般競争契約
		指名競争契約
		随意契約
【指名競争契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
指名基準及び競争参加者選定の具体的理由		
【随意契約である場合】		
当該契約方法とした具体的理由		
当該法人を選定した具体的理由		